

企画展

三河地震と戦争と

—— 体験談から迫る「隠された大災害」 ——



発災直後の形原町内のようす(撮影/宮村攝三・提供/兵庫県立大学 木村玲欧・関西大学 林能成)

令和8年

1月10日[土]~2月23日[月・祝]

休館日:月曜日・第3火曜日(祝日は開館)

開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

入場無料

蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10番22号

〔蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台(市民会館と共用)〕

TEL(0533)68-1881 FAX(0533)68-1880 <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/>

博物館HP



三河地震と戦争と

—— 体験談から迫る「隠された大災害」 ——

昭和20年(1945)1月13日午前3時38分、寒い冬の暗がりの中で三河地震は発災しました。この地震はいわゆる内陸直下型地震で、蒲郡市を含む西三河南部(安城市・西尾市・幸田町)の比較的狭い範囲において、死者2,306人、全壊家屋7,221棟、半壊家屋は16,555棟という甚大な被害をもたらしました。また、この地震は戦争中に発災したため、国民の士気低下につながらないよう軍部によって情報統制され、「隠された地震」とも言われてきました。

こうした状況から、現存する文書や写真資料は限定的でしたが、平成15年(2003)以降、名古屋大学地震火山防災研究センター(当時)によって震災体験者への聞き取り調査、そして調査に基づく体験画の作成が行われました。蒲郡市内でも6名の方が調査に協力され、体験画とともに地震発災時の貴重な証言が得られています。今回の展示では、当時調査を担当された木村玲欧(兵庫県立大学)、林能成(関西大学)両氏からご提供をいただき、こちらの資料を一同に紹介します。

また、これから起こりうる南海トラフ巨大地震に対する最新の防災、減災対策についても紹介します。本企画展の会期中に、三河地震は発災から81年目、同じ直下型地震として関西地方に大きな被害を与えた阪神・淡路大震災も、発災から31年目を迎えます。身近に起こりうる大災害にどう備えるか。体験談を通して、また最新の防災、減災対策から、日ごろの備えについて考える機会となればと思います。



三河地震の波形を計測した
「今村式二倍強震計」
[岐阜県博物館 所蔵]



塩津村(蒲郡)在住の男性が
三河地震の体験を記した「昭和の三河震災」
[竹谷町総代区 所蔵(当館寄託)]



「家の下敷きになった母親と救助する兵士。2人の子供は亡くなった。」



「夜が明けると、見慣れたはずの道には背よりも高い段差が出来ていた。」



「国民学校の運動場には、負傷して手当てを待つ人の列が続いた。」

関連 行事

■講座

「三河地震と南海トラフ —地震に対する備え—」

名古屋地方気象台地震津波火山防災情報調整官 大西星司氏
1月17日(土) 13:30から14:30まで 場所:博物館1階 ギャラリー

■ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

2月1日(日) 13:30から14:30まで 場所:博物館1階 特別展示室

■三河地震 紙しばい劇場

- 1月18日(日) 13:30から14:15まで 場所:博物館2階 研修室
「隠された災害 三河地震の記憶」 形原五七巳午会紙芝居同好会
- 1月25日(日) 11:00から11:30まで 場所:博物館2階 研修室
「じんばはおそげえ」 金沢ヒューマン文庫を愛し守る会

■地震体験車「なまず号」による地震体験

1月31日(土) 10:00から15:00まで(随時受付)

場所:博物館正面 玄関前広場



地震体験車「なまず号」

●開催中のイベント●

令和7年度 ひなまつりスタンプ・シールラリー

令和8年1月31日(土)から3月8日(日)まで

県内32館が参加するスタンプラリーです。

今年から、3館賞が2回受け取れる新ルールを設定!

これまで以上に多くの景品をお受け取りいただけます。

参加館(一部)

蒲郡市博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・商家駒屋(豊橋市)
田原市博物館・田原市渥美郷土資料館・幸田町郷土資料館
岡崎市旧本多忠次邸・岡崎むかし館・奥殿陣屋(岡崎市)
安城市歴史博物館・西尾市資料館・西尾市岩瀬文庫
旧糟谷邸(西尾市)・一色まなびの館(西尾市) ほか

令和8年1月10日[土]~2月23日[月・祝]

休館日:月曜日・第3火曜日 祝日は開館

開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

入場無料

蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10番22号 TEL(0533)68-1881 FAX(0533)68-1880

[蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台(市民会館と共用)] <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/>

博物館HP

